

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1053
2025.11.9

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村

としお

久保

金子

とば

めぐみ

たけこし

池田

とば

めぐみ

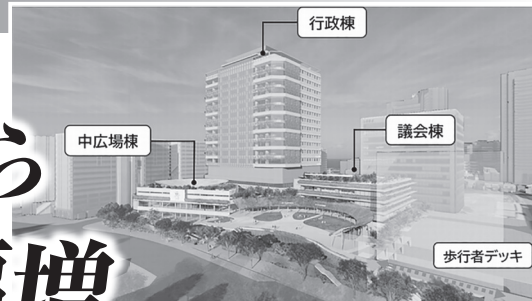
たけこし

池田

めぐみ

さいたま市新庁舎

当初の238億円から 700億円超に大幅増



さいたま市ホームページより

9月議会において、新庁舎整備基本設計の中間報告がなされました。2024年11月から開始された基本設計は2026年4月完成予定で進められていますが、事業費の大幅な増額が明らかとなりました。

2021年12月に策定した基本構想では約238億円と示された概算事業費。その後、基本計画段階（2023年）の400億円、基本設計中間段階（2025年）で700億円へと300億円増額され、さらに基本設計完了段階（2026年）では750億円から770億円に達する見込みです。

増額の内訳は、物価・労務単価上昇が135億円（54%）、設計の深度化が70億円（28%）、職員数増加等の与条件変化が45億円（18%）とされています。物価上昇は一定程度やむを得ないとしても、設計深度化による70億円の増額については、当初から十分な検討がなされていなかったことの証左です。また、新都心駅から新庁舎をつなぐデッキなど本当に必要なのか

疑問が残る機能も計画に含まれており、事業費に転嫁されています。

日本共産党さいたま市議団は一貫して、市民利用が限定的である市庁舎は豪華絢爛なものではなく、簡素で最低限の機能を持った市庁舎とすることで費用を抑えるべき、市民の税金で建設される以上、見栄えよりも実用性と経済性を優先すべき、と主張してきました。一方で、党市議団が指摘し続けてきた行政職員の執務面積の狭さについて、今回の計画で1フロア増やして対応することが明らかになった点は評価できます。適切な執務環境は行政サービスの質に直結するため、この改善は重要な成果です。

市庁舎等整備検討特別委員会に所属しているたけこし連市議は「本市は、市庁舎以外にもさまざまなビッグプロジェクトを抱えている。決算特別委員会を通じて明らかになった、市債の発行でなんとか黒字にしているという現状を考えると、あらゆる開発事業について再検討が必要な状況だ」と話しました。

「オーガニックビレッジ宣言」実現へ



「オーガニックビレッジ宣言」をとりあげる久保市議
(2022年12月議会)

「オーガニックビレッジ宣言」とは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみでの取り組みを進めるため、計画を策定し、周知することです。このたびさいたま市は「オーガニックビレッジ」実施地区として、国からの支援を受けることになりました。全国では150市町村が国からの支援を受けています。政令市では5番目、埼玉県内では小川町、所沢市に続いて3番目になります。11月8日、

浦和駅東口パルコ前でおこなわれる「オーガニックシティフェス」(「さいたま有機計画」主催)で清水市長が「オーガニックビレッジ宣言」をおこないます。

2022年、久保みき市議が一般質問でこの構想を提案し、「オーガニックシティフェス」の様子を紹介しながら、市民と農家が直接つながる場の意義を訴えました。都市に暮らす人びとが、地元の農業や食のあり方に関心を持つきっかけとなるこのフェスは、まさに有機的なつながりの象徴です。

質問に先立ち、久保市議は千葉県木更津市も視察。小学校で、学校給食の残渣から堆肥をつくり、それを地元農家が活用するという循環型社会の取り組みを知って深く感動し、「さいたま市でもこうした取り組みを」と議会で求めました。以降、「学校給食への有機食材導入」「農地の有機転換支援」「農家との連携強化」など、具体的な施策を提案し続け、制度の壁にぶつかりながらも、有機農業にとりくむみなさんや市民の声を力に、粘り強く訴えてきました。久保市議は「ついに市が一步を踏み出したことに胸が熱くなる。この宣言はゴールではなくスタート。市民、農家、行政と手を取りあい、都市農業の未来へ向けて、ともに歩み続けていきたい」と話しました。

平和のとりくみ 充実へ



10月30日にさいたま市戦没者慰霊式がおこなわれ、松村としお、金子あきよ、とばめぐみ、池田めぐみの各市議が出席しました。

戦没者遺族のあいさつで遺族が高齢化している現状も話されました。戦争の記憶の継承は本市でも大切な課題となっています。党市議団は戦後80年にあたり、平和推進事業の拡充を提案し、平和学習のため中学生を広島に派遣する取り組みの実現などを後押ししてきました。来年度以降も継続・発展させていく重要性を再確認しました。

12月議会のお知らせ

11月26日(水)から12月19日(金)まで、12月議会が開かれます。請願のメ切は**11月18日(火)午後5時です**。請願の提出には紹介議員が必要です。お早めにご相談ください。

学校のエアコン修理を迅速に



教育委員会に署名を手渡す新日本婦人の会のみなさんと金子市議（右）

厳しい暑さだった今年の夏、市内の小中学校でエアコンの故障が続出しました。暑くて学習ができず、下校時刻を早めた学校もあったそうです。新日本婦人の会は「こどもたちを熱中症の危険から守るために市の予算で早急に、エアコンの効かない教室、体育館の対策を講じてください」との要望署名にとりくみました。10

新婦人が要望署名提出

月 23 日、集まった 1411 筆の署名を教育委員会学校施設管理課に提出、懇談をおこない、金子あきよ市議が同席しました。

懇談では、とりくみ状況について学校施設管理課長が「学校のエアコンは市内小中学校普通教室に 2007 ～ 08 年度に一括で設置、中学校では 2019 年度から特別教室、体育館に順次設置し、今年度で完了した。年 2 回のフィルター清掃、法定点検はおこなっているが、設置から一定の期間が経過し、いっせいに『故障』『効きが悪い』という状況になっている。まず分解・洗浄で対応、必要なときは入れ替えをおこなっ

ている」と説明。参加者から「対応に時間がかかっている。もっと早くできないか」「スポットクーラーなどで緊急対応を」との意見が出されました。

課長からは「子どもたちの教育環境を悪化させないことが重要。できることは迅速にとりくんでいく」との認識も示された一方で「エアコ

グリーンスローモビリティ実証実験しています

さいたま市のとりくみである「グリーンスローモビリティ（通称グリスロ）」の市内初の実証実験が、北浦和周辺でおこなわれています。狭い道でも走れる小さいゴルフカートのような電気自動車で、時速は 20 キロ未満。車両の最大定員は 7 名ですが、運転手と地域サポーターが乗車するので、一般の方は 5 名乗れます。運賃は無料、地域住民にヒアリングしてルートを決めました。10 月 6 日から 31 日まで「針ヶ谷エリア」、11 月 4 日から 28 日まで「北浦和エリア」、12 月 1 日から 19 日まで「北浦和西側エリア」で実証実験しています。

針ヶ谷エリアの走行を体験した池田めぐみ市議は、「地域を低速で走るカートはめずらしく、子どもたちが手を振ってくれた。風を感じなが

の修繕にはいちばんお金がかかる。一つの課として予算を取るためには限界もある」との発言もありました。金子市議は「困っている現場に應えるだけの予算をつけるべき、との市民の意見は当然。学校エアコンの修繕整備を市の財政にしっかり位置づけるよう、議会でも求めていく」と話しました。



「グリスロ」に試乗した池田市議

らの乗車はわくわくする経験だった。一方で、本格運行する場合、『運転手』は、地域ボランティアが担う計画。万が一、事故が起きたときの対応や、人員確保が本当にできるのかなどの課題がある」と話しました。千葉市や松戸市で本格運行していますが、ボランティア 30 人以上で回しているとのこと。運賃が無料の場合、運転手は普通免許で運転可能ですが、地域の負担につながらないかなど、しっかりと検証する必要があります。ぜひ、みなさんも実際に乗車していただき、お声を聞かせてください。

ご存知
ですか？

区役所の「書かない窓口」



市は、区役所の証明書発行窓口等で「書かない窓口」を拡大、今年度中に全区で導入の予定です。先行していた西区役所に続いて、10 月 29 日から浦和・南・岩槻の各区役所でも開始されました。金子あきよ市議が南区役所で「書かない窓口」の運用について視察しました。

市民が住民票等の証明書を発行や引っ越しなどの届出をしようとする時は、窓口に行き、

(1) マイナンバーカード、運転免許証等の身

分証明書を提示

(2) 職員が対面で申請内容等をシステムに代行入力し、申請書を出力

(3) 印字された申請書の内容を確認し、名前を記入

という 3 段階で手続きが完了します。自分で書くのは名前だけ、必要なことは職員が順序よく尋ねるので、それに答えながら申請書を完成させることができます。金子市議は「手間が少なくなり、申請から発行の時間も短縮されることは実感できた。職員の負担を減らすところまで、運用がスムーズにできるのかは注視していく必要がある」と話しました。

あなたの身近な市議会議員です



緑 区
松村としお



桜 区
久保 みき



南 区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ